

事前評価個表

整理番号	34
------	----

地域（地区）名	利根下流地域 <small>とねかりゆう</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	群馬県	対象市町村	前橋市ほか5市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	林業公社、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は群馬県の中央部から南東部に位置し、総面積は161,828ha、森林面積は59,821ha（森林率37%）である。民有林面積は48,287haでスギ、マツを主体とした人工林の面積は27,175ha（人工林率56%）となっている。</p> <p>また、本地域の林道延長は450km（林道密度9.3m / ha）で、このほかに作業道666kmが整備されており、林内道路密度は23.1m/haとなっている。</p> <p>本地域の民有林人工林については、4 齢級から12 齢級までの森林が約82%を占めており、間伐等の整備が必要な森林が多くなっている。また、所有森林の現状は、小規模零細な森林所有者が多く、採算性の問題等から整備が進まない森林も多くある。</p> <p>このことから、森林環境保全整備事業計画書を作成し、これに基づく森林整備を推進する必要がある。特に間伐については、小規模で複数の施業地を効率よく整備するため、路網整備を含めた施業の集約化を行い、来年度より稼働する渋川県産材センター等と連携しながら搬出間伐を推進し、県産材自給率の向上、森林所有者の所得向上及び地域経済の活性化を図る。</p> <p>また、本計画により適切な森林整備の推進することにより、水源かん養及び二酸化炭素の固定等、森林の持つ多面的機能の維持増進を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,484ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：1,484,956千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.97 (総便益(B) = 8,236,458千円、総費用(C) = 2,071,655千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の現状からみて必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：集約化施業を行うことにより、低コスト化が図られ、森林所有者の負担が軽減し、さらなる森林整備の推進が図られる。また、森林整備が推進することにより水源かん養及び二酸化炭素の固定等の森林の持つ多面的機能の維持増進も図られるため、有効性が高い。</p> <p>森林は、多様な機能を有しているがこれらの機能は一度失うと回復に長時間を要することから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。</p> <p>本計画は、森林の齢級構成等に応じた適切な森林整備等の計画をしているほか、効率性・有効性が認められ、採択要件も全て満たしている。</p> <p>このため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 利根下流

群馬県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,194,168	
	流域貯水便益	633,809	
	水質浄化便益	1,082,062	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,425,489	
	土砂崩壊防止便益	47,007	
環境保全便益	炭素固定便益	453,105	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,400,818	
総 便 益 (B)		8,236,458	
総 費 用 (C)		2,071,655	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,236,458}{2,071,655} = 3.97$		

森林環境保全整備事業 利根下流地域(群馬県) 概要図

